



図書館だより



NO. 260 2020年1月号
(2020年1月5日発行)

はつかいち市民図書館

電話 (0829) 20-0333

廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

「廿日市市図書館基本計画（案）」に関する パブリックコメントの募集について

パブリックコメントとは、計画や政策などの案を公表し、この案に対して広く市民の皆さんから意見や情報を募集するものです。

「廿日市市図書館基本計画」の策定にあたり、ホームページや窓口を通じて、市民の皆さんの意見を計画に反映させるため、広く意見を募集しています。ご協力いただける方は、各図書館設置、もしくは、はつかいち市民図書館ホームページに掲載されている意見記入用紙にご記入の上、下記の受付場所にご提出ください。

いただいた意見は、最終案を検討するために活用するとともに、その意見に対する市の考え方を、後日、公表します。（なお、記入していただいた氏名、住所、電話番号は、提出意見の内容に不明な点があった場合の連絡・確認のために利用します）

募集期間：令和元年12月24日（火曜日）から令和2年1月24日（金曜日）まで

〈意見を提出できる人〉

- ・廿日市市内に在住・在勤・在学する人
- ・廿日市市内に事務所・事業所を持つ個人・法人・団体
- ・施策などの案に関して利害関係を有する個人・法人・その他の団体

〈ご意見受付場所〉

- ・はつかいち市民図書館
- ・はつかいち市民大野図書館
- ・はつかいち市民さいき図書館
- ・はつかいち市民図書館ホームページ
- ・廿日市市ホームページ
- ・廿日市市役所2階 行政資料室



* 今月の展示 *

《中央展示》

『読みくらべ！中国三大奇書』

「中国三大奇書」をご存知ですか？ 日本でもよく知られている中国の小説、「三国志演義」「西遊記」「水滸伝」です。（※「三国志演義」のかわりに「金瓶梅」とする説もあります）

小説、漫画、絵本など様々な形態で、色んな作家の方が手掛けられています。読んだことがある方も、読んだことがない方も、ぜひこの機会に読みくらべてみてください。

《企画展示》

『毎日が楽しくなる手帳・ノート術』

一年の計は元旦にあり。新しくおろした手帳に今年の目標や、やりたいことを書き込んだ方も多いのではないのでしょうか？

毎日使う手帳やノートを少し工夫してみたら、いつもよりもっと楽しい1年になるかもしれません。

手帳術やノート術、イラストの描き方など参考となる資料を集めて展示しています。

展示期間：1月5日（日）～1月22日（水）

「今年は何か新しい
ことを始めよう！」
と思っている方へ



新しい年の始まりに



読書記録をつけてみませんか？



読んだ本を記録しておける「100冊読書手帳」をはつかいち・大野・さいき図書館の窓口で無料配布しています。

「今年は100冊本を読むぞ！」と目標を決めて始めるのもよし、
「今年は何の本を読んだか記録を残しておこう」とつけ始めるのもよし、
この機会にぜひ手に取ってみてください。

また、100冊分記入し終わった手帳を図書館に持ってくると、記念のしおりをプレゼントしています。100冊、200冊、300冊以上達成ごとに絵柄が違うので、やりがいがありますよ。

※小中学生の読書啓発を目的に作成したのですが、大人の方にもご利用いただけます。



新しく入った本(一般書)



図書館には1カ月に約500冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『本を読めなくなった人のための読書論』若松英輔／著 亜紀書房 019/7
- 『教皇フランシスコの挑戦』新装版 ポール・バレリー／著 南條俊二／訳 春秋社 198.2/7
- 『日本の偽書』藤原明／著 河出書房新社 B 210.3/7
- 『安芸国の中世をゆく』木本泉／著 溪水社 217.6/キ
- 『独裁者はこんな本を書いていた』上・下 ダニエル・カルダー／著 黒木章人／訳 原書房 313.8/カ
- 『老いる自分をゆるしてあげる。』上大岡トメ／著 幻冬舎 491.3/カ
- 『血流がすべて整う暮らし方』堀江昭佳／著 サンマーク出版 490.9/ホ
- 『胃を切った人のための毎日おいしいレシピ 250』木下敬弘／監修 千歳はるか／監修 学研プラス 493.4/イ
- 『塩麴・甘酒・キムチで作る小鍋』武蔵裕子／著 新星出版社 596/ム
- 『結果もスピードも手に入る神速スマホ仕事術』岡田充弘／著 すばる舎 694.6/オ
- 『新海誠の世界を旅する』津堅 信之著 平凡社 S778.7/ツ
- 『うつ白』森崎和幸／著 森崎浩司／著 TAC 株式会社出版事業部 783.4/モ
- 『知っておくと役立つ街の変な日本語』飯間浩明／著 朝日新聞出版 S810.4/イ
- 『万葉の心』中西進／著 毎日新聞出版 B911.1/ナ
- 『息吹』テッド・チャン／著 大森望／訳 早川書房 933/チ
- 『清く貧しく美しく』石田衣良／著 新潮社 F/イ
- 『希みの文 風の市兵衛 26』辻堂魁／著 祥伝社 BF/ツ





こどものほん

1 月



『ナマコ天国』

本川達雄/作 こしだミカ/絵 偕成社 484/円
インパクトのある表紙に「ナマコ天国」というタイトル。ナマコがたくさん出てくる物語でしょうか。いえいえ、ナマコだらけのナマコづくしですが、物語ではなく、ナマコの生態を描いた科学絵本です。

目のように見えるのは、実は口。なんと、ナマコには目も鼻も耳もないばかりか、脳も心臓もないのです。なんにもないけど、ナマコは困らない。なぜならナマコには「超（チョー）能力」がいっぱいあるのです。

ヘンだけど「知れば知るほどビックリな」ナマコのひみつを、ナマコの超人「ナ・マーコ」が教えてくれます。

『絵本江戸のたび』

太田大輔/作 講談社 E/円

江戸時代、江戸のまちの人々がいちばん楽しみにしていた「お伊勢参り」の旅を紹介する絵本。

江戸から伊勢神宮までの距離は500km。現代では、車で約8時間、電車で約5時間の旅ですが、江戸時代の人々は2週間かけて歩いて旅をしていました。当時の人々の旅のようすや、ページをめくるごとに変わるさまざまな町の景色を楽しみながら、妖怪小僧といっしょに東海道を旅してみましよう。

巻末の解説やまめちしきを読んで、妖怪小僧の仲間たちを絵探ししながら楽しむこともできます。既刊『絵本江戸のまち』も所蔵しています。

令和元年度 はつかいち市民図書館 子どもと本の講座

絵本を読むコツ 選ぶコツ 基本マスター講座 その2



6月に引き続き、読み聞かせ講座の第2弾を開催します！

今回は、保育園や小学校など、集団の子どもたちへ行う読み聞かせについて、児童書担当の図書館司書が実践例を交えてお話しします。

1月26日（日）
13：30～15：30

保育園や図書館などで行う
乳幼児を対象とした
読み聞かせ



2月9日（日）

13：30～15：30

学校や図書館などで行う
小学生を対象とした
読み聞かせ



※いずれか1回のみの受講も可能です

☆場 所：ウッドワンさくらびありハーサル室

☆対 象：読み聞かせの活動をしている人、これから始めたい人、絵本や読み聞かせに興味のある人

☆定 員：各20人（先着順）

☆申込方法：はつかいち市民図書館まで直接、または電話・FAXで

参加者の氏名、電話番号、参加希望日をお伝えください

はつかいち市民図書館 電話 0829-20-0333 FAX 0829-32-7158

☆申込期間：令和2年1月6日（月）～

はっか いち

廿日の市に来てみんなさい！

本のリサイクル市を行います！

寄贈していただいた本の中で、受け入れしなかったものをお譲りします。

1月20日(月) 7時45分～

※本がなくなり次第、終了します

場所：廿日市市役所正面玄関広場

※お一人につき10冊まで。

(たくさんの方にお譲りしたいので、ご協力お願いいたします)

※本を持って帰る袋はご持参ください。



1月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1 休館	2 休館	3 休館	4 休館
5	6	7	8	9	10	11 ★
12	13	14	15	16	17 ◎	18 ◆
19	20	21	22	23 休館	24	25 ★
26	27	28	29	30	31	

◎ ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 10時30分～

2回目 11時～

※整理券をお渡ししています。

相談カウンターにお申し付けください。

☆ おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】11時～

◆ ストーリーテリングのおはなし会

【対象】5歳～大人

【時間】11時～

※場所は図書館会議室です。